回答No.25参考資料

■質疑内容

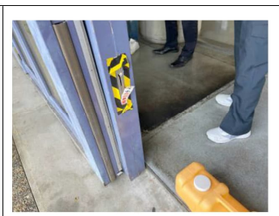
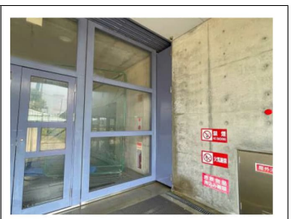
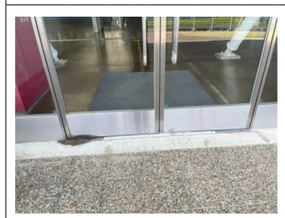
27	基本計画書	2-6	2-12 外部鋼製建具類	南側大型引戸収納扉のｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ管の落水に対し竪樋の接続を行うとありますが、文面だけでは、状況がわかりません。修繕工事の詳細についてご教示お願いいたします。

■基本計画書　2-12　外部鋼製建具類（頁2-6）

2-12　外部鋼製建具類

現状・調査結果）
　外部鋼製建具の種類は大別すると、　①アリーナ南北面にあるスチール製大型引戸　②1・2階利用者出入口にあるステンレス製開き戸　③機械室などのスチール製開き戸の３種類がある。
　調査では、目視及び動作確認を行った。不具合状況は以下の通りである。
①スチール製大型引戸
スチール及び塗装・・・劣化している。一部錆あり。
ポリカーボネート・・・劣化しているが、機能は支障なし
金物・・・ハンガーレールの摩耗、鍵の故障、下枠の故障、収納扉の故障など不具合あり
②ステンレス製開き戸
ステンレス・・・支障なし
ガラス・・・支障なし
金物・・・フロアヒンジから油漏れ。扉の可動に支障あり。
③スチール製開き戸
スチール及び塗装・・・劣化している。一部錆あり。
金物・・・特に支障なし。

現況写真）



改修方針）
扉の①付属金物は一式更新、②ガラス・ポリカーボネートとも既存のままとする。
③南側大型引戸収納扉の不具合については、上部にあるオーバーフロー管から落ちてくる水による錆が原因だと考えられるため、今回改修工事で竪樋の接続を行う。
④スチール扉及び枠は再塗装を行う。塗装種別は DP-A 種（上塗フッ素）とする。

■対策箇所　現況写真

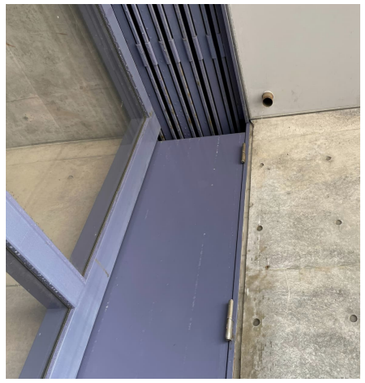
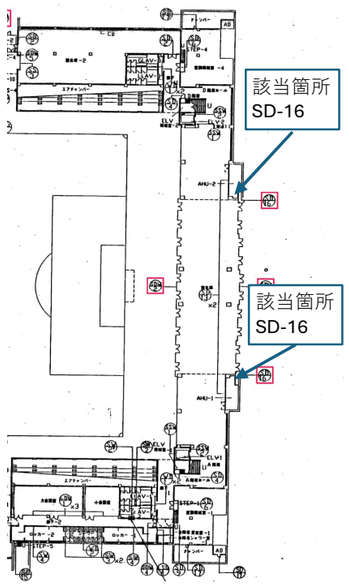
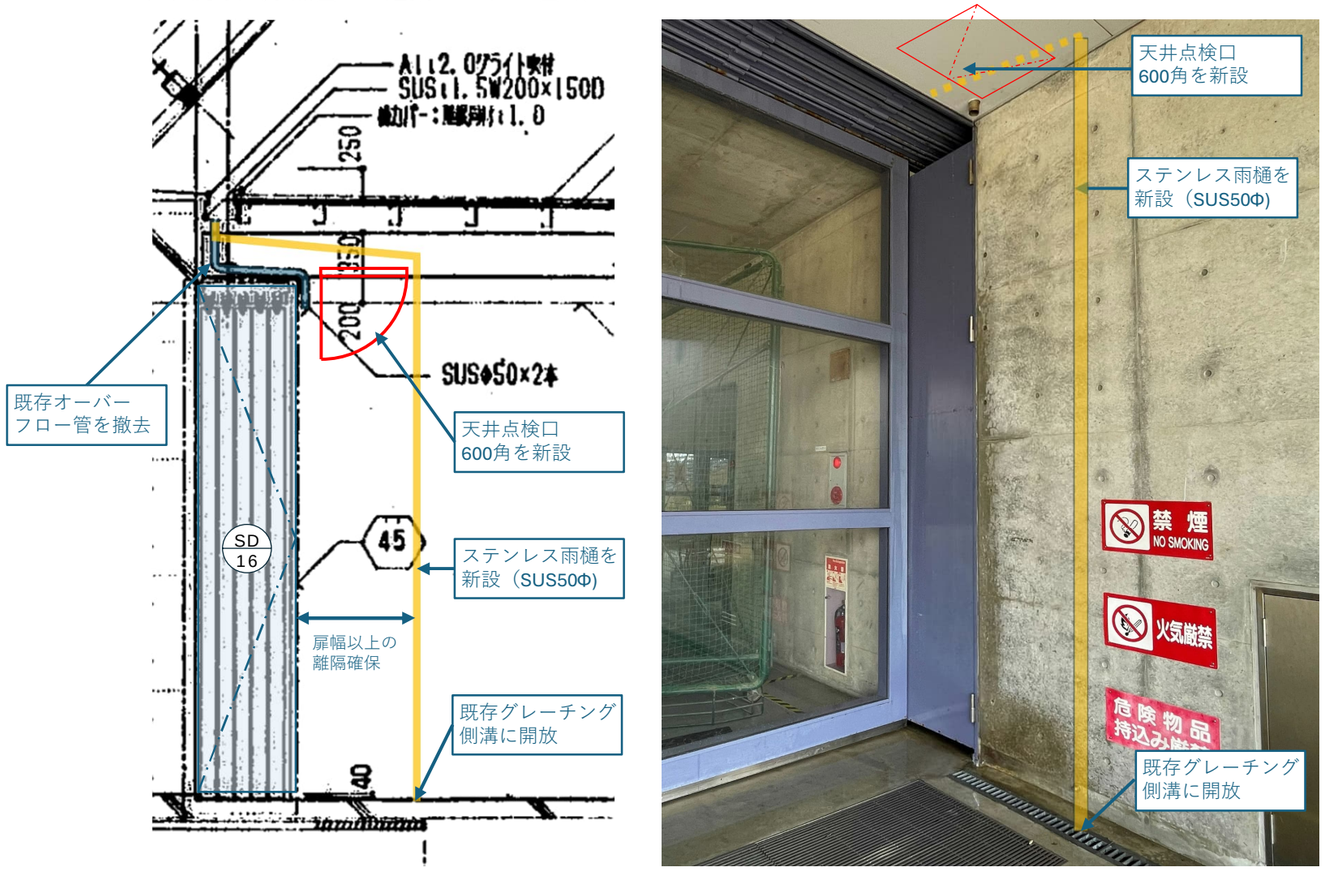

写真１）２階バルコニー部分のオーバーフロー管が天井面で解放されている様子


写真２）オーバーフロー管から落ちた水滴が壁面を濡らし、扉にサビが生じている様子



■対策方法（参照図面　建築-22　矩計図-3）



対策方法：既存オーバーフロー管を撤去し、ステンレス雨樋を新設する。縦樋の取付位置はSD-16の開き勝手を妨げない位置に設置すること。また今後のメンテナンスを考慮して、天井点検口を設置する。